



## 電池人材育成プログラム（大阪公立大学×パナソニック エナジー）

- イベントレポート（5） -

レポート：近畿経済産業局 次世代産業・情報政策課

本日は、教育機関と企業が連携した人材育成の取組をご紹介します。パナソニック エナジー株式会社（以下、「パナソニック エナジー」）は、脱炭素社会の実現のために欠かせない蓄電池産業の発展を支える人材の育成を目的に、大阪公立大学にて、蓄電池分野に特化した人材育成プログラムをスタートさせました。パナソニック エナジーは、大阪公立大学中百舌鳥キャンパス内に建設されたスマートエネルギー棟に2025年4月より入居し、人材育成プログラムを提供しています。電池メーカーが大学構内のラボに入居し、専門的な人材育成プログラムを提供することは、日本国内でも先進的な取り組みです。

### 特別講演

令和7年7月、スマートエネルギー棟に集まった大阪公立大学の学生67名に向けて、パナソニック エナジー 渡邊CTO（最高技術責任者）による特別講演「未来を変えるエナジーになる。」が開催されました。渡邊CTOは、大阪府立大学のOBで、松下電池工業に配属後、リチウムイオン電池の開発に長年従事し、世界初の黒鉛負極を用いたリチウムイオン電池の商品化、製品の高容量化、小型化に大きく貢献された人物です。

まず初めに、蓄電池産業が果たす社会的役割が語られ、パナソニック エナジーでは乾電池から車載用電池まで幅広く手がけており、特にEV・PHEV向け電池ではグローバルシェア4位、北米では45%のシェアを誇っているとの説明がありました。今後は、化石燃料依存からの脱却に向けて、エネルギー革命の中心に位置付けられる蓄電池産業が、未来を変える力を持つ「意義ある産業」と捉え、若い世代に是非挑戦してきて欲しいとのメッセージが伝えられました。

次に語られたのは、社会人としての心構えについてです。パナソニック エナジーでは「世界と戦う」ことを明確に定義し、「ミッション・ビジョン・ウィル」を掲げて日々の業務に取り組んでいます。電池の性能を数%向上させることが、業界内では大きな意味を持ち、その性能競争を勝ち抜くためには、材料開発から調達、工場建設、設備開発に至る全工程で、総合的な力が求められていると語りました。

世界動向を見れば、コロナ禍以降、中国が圧倒的なシェアを持つようになり、価格は約1/50、性能は約3倍になったが、日本の技術力と資源調達は大きな武器であり、世界と戦い続けなければならぬ、ルールは変われど、勝負に勝つための法則は不変であるとの力強いメッセージがありました。



講演の最後には、学生に対して、「どの会社に入るかが大切ではない。何を成し遂げたいかが重要だ。」との熱い言葉が届けられ、受動的ではなく、能動的に動くことが、厳しい社会の中でも前向きに前進できる秘訣であるのだと締めくくられました。

### 電池人材育成プログラム

令和7年9月には、大阪公立大学の電気・機械・情報・化学分野の博士前期課程1年生及び学部4年生を対象とした「電池人材育成プログラム」が、大阪公立大学中百舌鳥キャンパスで開催されました。

このプログラムは、電池の歴史・基礎から電池設計・電池生産技術まで、電池開発・製造に必要な知識・スキルを現役エンジニアから学ぶことのできる内容となっており、大学の単位認定はありませんが、電池産業に興味関心のある25名の学生が参加しました。

プログラムは、講義と実習で構成され、リチウムイオン電池の歴史や原理等を学ぶ「電池概論」、電池の多重保護機能や電池生産設備を学ぶ「電池設計・電池生産技術」が講義として展開されました。

また、学生が主体的にプログラムに参加できるようリチウムイオン電池の安全性確保など複数のテーマに分かれたグループワークが用意されており、各班は、限られた時間の中で積極的に議論を重ね、日頃の学びや自らの経験を踏まえながら、既存概念にとらわれない柔軟な発想で斬新な意見が多数発表されました。

実習では、乾電池組立やリチウムイオン電池の組立が行われ、学生達は、普段触れることの少ない材料や器具を前に、真剣な表情で一つ一つの作業に没頭していました。



### 企業の想い（人材育成の取組について）

蓄電池産業は、これからの社会や未来を支える大切な分野であり、電気化学や電気、機械、情報など、さまざまな知識やスキルが活かせる場所でもあります。このプログラムでは、現役エンジニアが現場で培った経験をもとに、講義や実習を通じて電池業界の魅力・挑戦の中で出会う難しさ、自分の専門性がどのように役立つかを伝えています。このプログラムが、新しい挑戦へのきっかけとなり、さらには学生の皆様の将来の選択肢が広がる一助となることを願っています。

### 大学の想い（人材育成の取組について）

大学のミッションは、教育、研究、社会貢献ですが、大学内での企業の人材育成プログラム実施は非常にユニークな試みです。

いま優れた蓄電池人材の輩出が強く求められる中、全固体電池研究所や最先端の電池材料解析設備を有するスマートエネルギー棟で、パナソニック エナジーと本学が共創して世界に羽ばたく人材育成に取り組むことに大きな期待を持っています。

### 編集後記

今回の特別講演や電池人材育成プログラムは、これからの電池産業を担う若い世代に電池産業の魅力を伝えるべく開催されました。

プログラムを通じて「電池業界に挑戦してみたい」と思う若者が一人でも多く現れることを心から願っています。世界的なエネルギー転換の中で、蓄電池は社会を支える重要な技術です。若い世代の新しい発想や情熱が、蓄電池産業に新たな風を吹き込むことを期待しています。

高校生・高専生向けバッテリー教育プログラム  
（近畿経済産業局HP）

<https://www.kansai.meti.go.jp/3iise/dai/battery/batteryworld.html>



パナソニック エナジー株式会社

設立：2022年  
資本金：500百万円  
従業員数：グローバル連結 約20,100人（2025/4/1）  
本社所在地：大阪府守口市松下町1番1号

